

【2-23】スライド作成の注意点

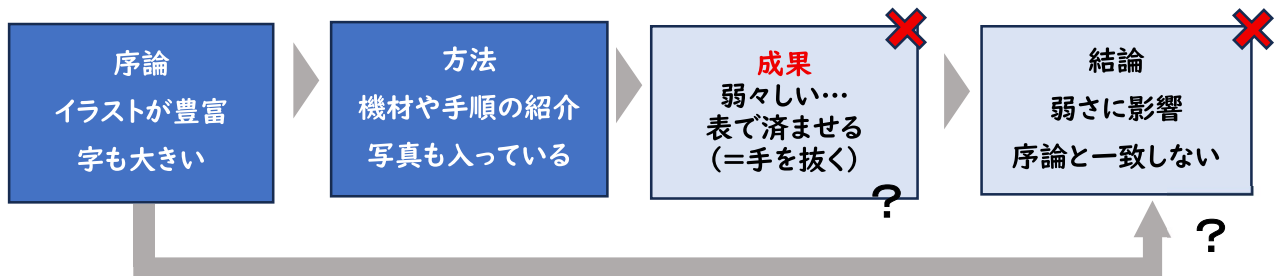
スライド発表では、一つ一つのスライドに注目されながら、研究のプロセスを説明していきます。

「研究について相手に理解してもらえる」ということが重要です。

一方的に説明を行う「発表」ではなく、聴き手に理解をもたらす「プレゼンテーション」を目指して準備を進めましょう。

重要な項目は次のとおりです。特に重要なのが「論理性」「成果」です。

×次のようにならないように気を付けましょう。

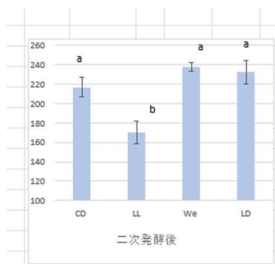


次のループブリックを参照してください(特に”3”)

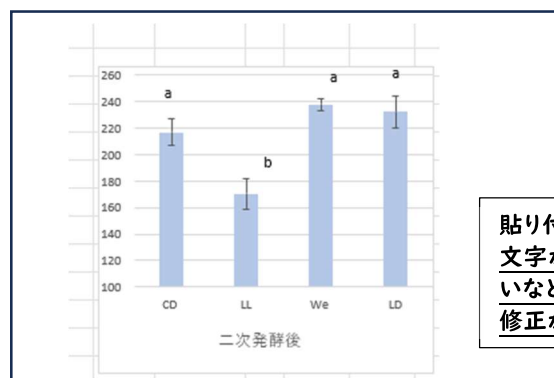
項目	3 (目標が達成されている)	2 (目標の一部が達成されている)	1 (目標が達成されていない)
結果の客観性	表や図・写真を用いて、 統計解析や帰納的・演繹的推論 による客観的な成果である。	表や図・写真を用いているが統計解析や帰納的・演繹的推論を含まない成果である。	表や図・写真を含んでいない成果である。
成果とデザイン	グラフが強調され 、成果が目立つように工夫がされている。	表や図・写真が強調されている。	文字が多すぎて強調部分がわからない。表や図・写真がない。
発表の説明	強調したいところを中心に、 原稿に頼らず、自分の言葉で説明 を行っている。	強調部分がわからないが、原稿に頼らず、説明している。	強調部分がわからず、原稿をただ読み上げているだけになっている。
質疑応答	質問に対して、スライドおよび スライド以外の研究の背景など に基づいて回答ができています。	質問に対して、スライドの内容に基づいた回答ができています。	質問に対して、スライド内容に基づいて回答ができていない。

結果の貼り付け方

×悪い例

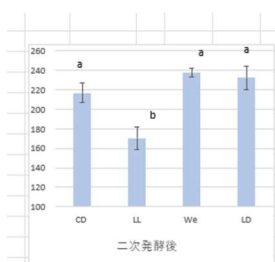


表計算ソフトで作成した表をスクリーンショットで貼り付けてしまう



貼り付け後、引き延ばす文字が小さい、画質が悪いなど、わかりづらい、修正ができない。

○正しい例

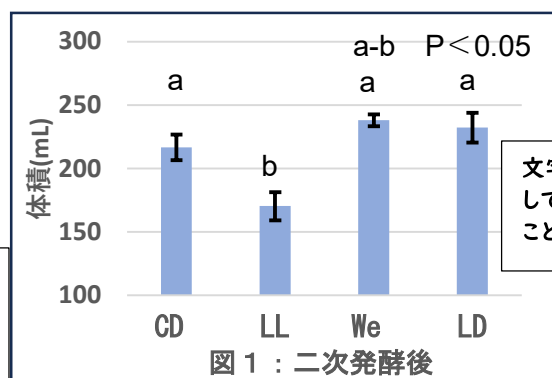


貼り付けのオプション:



再変 元の書式を保持しブックを埋め込む (K)

表計算ソフトで作成した表を元の書式を保持して貼り付ける



文字の大きさや色を調節して、グラフを目立たせることができる。